



もみじだい

学校教育目標 「夢をもち 地域と共に生きる生徒の育成」

合唱フェスティバルに向けて ～響き合う歌声、成長のハーモニー～

生徒活動部 高橋 美香

先日行われた合唱交流会では、各学年がこれまでの練習の成果を発揮し、体育館に美しい歌声が響き渡りました。どの学年も、曲のもつ世界観を大切にしながら仲間と心を合わせて歌う姿が印象的で、聴いている方の胸が熱くなる瞬間がありました。その一方で、音程やパート間のバランスなど、さらに良い合唱にするための課題もいくつか見えてきました。この交流会は単なる中間発表の場にとどまらず、他学年の歌声に触れて新たな刺激を受け、互いに学び合う貴重なステップとなりました。

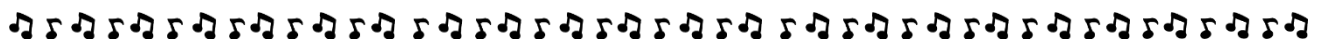
いよいよ明日、生徒たちが心待ちにしてきた合唱フェスティバルが開催されます。交流会以降も、各学年で練習時間を積み重ね、表現力に磨きをかけてきました。今回の取組における大きな特徴は、プロジェクトメンバーを中心に、生徒自身が主体となって練習計画を立て、課題解決に向けた話し合いを重ねてきたことです。

もちろん、最初からすべてが順調だったわけではありません。曲への思いや練習への姿勢をめぐる意見がぶつかり、なかなかまとまらずに葛藤した場面もありました。しかし、生徒たちは途中で諦めることなく本音で向き合い、互いの声を聴き合いながら、ひとつずつ課題を乗り越えてきました。苦しい時期をともに過ごしたからこそ、学年の結束はより一層強固なものとなりました。明日は素晴らしい態度で鑑賞し、各学年の努力の成果を讃え合いましょう。

また、合唱練習時には学年を超えた交流も積極的に行われました。先輩から後輩へ練習方法や表情の作り方などのアドバイスが送られ、学校全体で合唱を作り上げる温かい姿が見られました。

明日の合唱フェスティバルには、もみじの丘小学校、もみじの森小学校の6年生も参加します。中学生が生き生きと歌う姿を届けることで小学生の憧れとなり、小中一貫した教育の大切な行事として、今後もこの絆と伝統をしっかりと引き継いでいきたいと考えております。

試行錯誤を重ね、仲間と喜びも苦労も分かち合いながら作り上げた各学年の歌声は、きっと聴く人の心を深く揺さぶるはずです。当日は会場いっぱいに素敵な音色が響き渡ることを、教職員一同、心から祈っています。保護者の皆様、地域の皆様の温かい御声援をよろしくお願い申し上げます。



～着任された教員からのメッセージ～

教諭 木村 直人(理科)

約8年振りに教育現場へ戻って来ました。久々の現場は新たな驚きと発見の連続ですが、授業や行事などを通して子どもたちに関われることに幸せを感じています。もみじ台中の皆さんとの出会いに感謝しながら、皆さんの学校生活を少しでも充実させられるようなサポートをできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

11月のおもな行事予定

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 2日(月) | 安全衛生の日 |
| 11日(水) | 学力テストC
2年職場体験 |
| 13日(金) | 会議のため完全下校
定時退勤日 No 部活 Day |
| 16日(月)～20日(金) | 教育相談日 |



「学校祭を通して学んだこと」

学校祭の準備では、仲間との協力や協調の重要性がよくわかりました。大道具を作るときに素材や形などで意見がぶつかる場面が多くありましたが、自分の考えを強く主張せず相手の考え方も理解することで、より良いみんなが納得するものを作れました。今回の作ったものや内容に納得できず我慢している人もいたと思うので、少数でも意見を聞いて多数決で何でも決めないようにしないといけないと思いました。今回の学校祭にあまり乗り気ではなかった人も、みんなのために発表を成功させようと頑張っていたので、とても感謝しています。今回の発表について、私は準備不足だったと思います。初めての学校祭の雰囲気になじめず浮かれていたり動揺したりして、効果音のタイミングがズレたり、音量調節を失敗してしまいました。けれど、みんな練習の時よりずっと良く成功もしていました。来年はしっかりと準備をして、自分のこともみんなのことも意識し、全員で大成功させようという気持ちをもって挑もうと思います。

(1年3組 ○○ ○○)

「学校祭を終えて」

今年の学校祭ではクラスみんなで劇をやりました。私は主人公の役をやりました。役を決める時は色々な立候補がいて、みんなで話し合いながら決めました。主人公に決まった時は嬉しかったけどちゃんとできるか不安でした。

練習が始まってから一番大変だったのは、セリフを覚えることです。主人公なのでセリフも多く、次のセリフが出てなくなってしまうこともありました。何度もセリフを読み返したり、実際に声に出して練習を重ねるうちに、最初よりも自信をもって言えるようになりました。

そんな中で迎えた最後の体育館練習では、実際に時間を計って劇をしました。しかし、時間内に終わらせることができませんでした。本番が近かったので「このままで大丈夫かな」と少し焦りました。でもみんなはどうすれば時間内に終わるかを考えたり、動きやセリフを確認したりして、最後まで諦めずに練習しました。

本番では、今まで練習してきたことを思い出しながら、自分の役を最後までやりきることができました。舞台に立つ前は緊張しましたが、劇が始まるとだんだん楽しくなり、みんなと一緒に劇を作っていることがうれしく感じました。

学校祭までの練習は大変なことや不安になることもありましたが、でも、みんなで協力して一つのものを完成させることができて、とても楽しかったです。

主人公という役を経験したことで自分から行動することや、最後まで諦めずに頑張ることの大切さを学びました。これからの学校生活にも生かしていきたいです。

(2年3組 ○○ ○○)

「学校祭を終えて」

今年の学校祭は僕にとって、初挑戦の多い学校祭でした。初の責任者や初めての実行委員など、3年間の中で1番挑戦という言葉に向き合い1歩前進した学校祭だったと思います。学校祭当日では3年3組の目標、「自分たちのステージで観客にたくさん笑ってもらおう！」はあまり、笑ったりしてもらえず「うーん…」という印象でしたが、なんとか後ろのクラスに3年3組の熱気をつなぐことができたと思います。もちろん、ステージができあがるまでにたくさんの困難に直面してきました。シナリオ作りから、動画の撮影や編集、ステージ構想、さらに、実行委員のシナリオ作りも重なって、自分でもクラスでもとても追いつめられていました。そんな時に仲間たちが「○○、抱え込まないで頼って。」と声をかけてくれました。そう言われて仲間に相談すると気持ちが楽になったし、自分で作ったときよりも、さらに良い作品ができました。それに、他の作業の質も上がって、実行委員のほうにも集中することができ、実行委員の司会も盛り上げることができてよかったと思いました。さらに、自分だけで処理をするのではなく、少し苦手だった「仲間を頼ること」ができるようになったと思いました。様々なことに挑戦してたくさんの成長があった、もみじ台中生最後の学校祭。大成功で終われたし、クラスの仲も深まって最高の学校祭でした！これからもこの深まったクラスで残りの学校生活を楽しめるように頑張っていきたいです。(3年3組 ○○ ○○)

「学校祭を終えて」

私が中学校の学校祭をやってみて思ったことは、小学校の学習発表会とは少し違ったところでした。小学校は、リハーサルがあって、本番は土曜日と木曜日の2日間あって、緊張が増えてよりドキドキしたけど、中学校は、本番1回だし、応援や緊張をほぐしてくれるような声援があって中学校っていいなあと思いました。

私が成長したと思ったことは、暗転したときに机などの出し入れを積極的にやってくれることが6組の成長したところだと思いました。練習よりみんな本気になって演技をしていていいと思いました。来年は、声を大きくして頑張りたいです。3年生は来年いないけど、今の1、2年生と協力して来年も楽しんで最後に良かったと言えるように頑張りたいです。

(1年6組 ○○ ○○)

中体連新人戦結果報告(10月16日現在)

○バドミントン部 地区予選

団体戦 〈男子〉2位 〈女子〉2回戦敗退

個人戦 〈男子シングルス〉○○ ○○・○○ ○○ペア ベスト8 〈女子シングルス〉○○ ○○ 優勝(全市大会3回戦敗退)
〈男子ダブルス〉○○ ○○・○○ ○○ペア ベスト8 〈女子ダブルス〉○○ ○○・○○ ○○ペア ベスト4
○○ ○○・○○ ○○ペア ベスト4

○ソフトテニス部

〈全市予選〉**団体戦** 〈男子〉2回戦敗退 〈女子〉1回戦敗退

〈厚別区〉**個人戦** 〈男子〉○○ ○○・○○ ○○ペア 2位 〈女子〉○○ ○○・○○ ○○ペア 3位
○○ ○○・○○ ○○ペア 3位

○女子バレーボール部

1日目 ・対 大谷中 0-2 敗退 ・対 厚別中 0-2 敗退

2日目 ・対 澄川中 1-2 敗退

1年生大会結果報告

○ソフトテニス部

個人戦 〈女子〉○○ ○○・○○ ○○ペア 1位(全市大会出場)
○○ ○○・○○ ○○ペア 3位(全市大会出場)

学校HP

